



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社バリューHR 上場取引所 東  
 コード番号 6078 URL http://www.valuehr.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 美智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 遠藤 良恵 TEL 03-6380-1300  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,488	2.5	248	△14.2	219	△10.8	119	△16.5
25年12月期第3四半期	1,452	—	289	—	245	—	142	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 121百万円 (△15.2%) 25年12月期第3四半期 142百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	45.55	41.00
25年12月期第3四半期	71.43	—

(注) 1. 平成25年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高は存在しておりますが、平成25年12月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	4,540	1,695	37.1	637.74
25年12月期	4,572	1,568	34.3	607.15

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,684百万円 25年12月期 1,568百万円

(注) 当社は、平成26年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
 平成25年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,020	4.0	354	△9.6	301	△6.6	177	△9.4	67.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料の3ページの「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	2,659,000株	25年12月期	2,584,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	－株	25年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	2,614,466株	25年12月期3Q	1,996,989株

(注) 当社は、平成26年7月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付資料の3ページをご参照ください。

・平成26年12月期の連結業績予想に記載の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成26年9月1日付の株式分割（分割比率1：2）及び当第3四半期までの新株予約権の行使を考慮して算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引上げ後の個人消費の落ち込みが長引いておりますが、その影響も徐々に薄れつつあり、企業収益の改善や設備投資の回復も見られ緩やかながらも回復基調が続きました。

そのような環境のもと、当社グループは、「健康管理のインフラを目指す」を事業ビジョンとして、健康保険組合、企業、個人を対象に健康管理サービスを提供しております。具体的には、一人ひとりの健康診断や健康管理の行動をサポートする健康管理システムの提供、及び健康診断や健康行動に関するデータ管理、並びに企業や健康保険組合の健康管理業務のアウトソーシングの受託を事業の柱として展開しております。特に、日本再興戦略に基づき健康保険組合が実施主体となるデータヘルス計画や企業での産業保健活動への取り組みが高まりを見せるなか、独自に開発した健康管理システム「バリューカフェテリア®システム」及び健診予約システムや健診結果管理システム等の販売と健康保険組合や企業での新たな需要を捉えた機能強化を推し進めてまいりました。また、健康診断の予約や健康診断結果の管理と保健指導に係る事務代行業務、健康保険組合支援事業としての健康保険組合の設立支援コンサルティング及び健康保険組合事務局への人材派遣業務も推進し、新規顧客の開拓と既存顧客の深耕の両面から当社グループ事業の基盤強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新たに設立された健康保険組合へのバリューカフェテリア®システムの提供が開始されたことや既存の契約団体に対する健康診断の実施に係る代行業務の増加により、システム利用料及び健康診断データの管理収入等をはじめとする事務代行料等が増加しました。また、新設健康保険組合事務局への人材派遣による派遣売上の増加及び健康保険組合の設立支援コンサルティングは新規案件の受注が増加しました。一方、健康診断関連の代行業務での労務費が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,488,562千円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益は248,122千円（前年同四半期比14.2%減）、経常利益は219,258千円（前年同四半期比10.8%減）、四半期純利益は119,103千円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### バリューカフェテリア事業

当第3四半期連結累計期間は新たに設立された健康保険組合へのバリューカフェテリア®システムの提供が開始されたことによりシステム利用料売上が増加しました。また、既存の契約団体への健康診断の実施に係る代行業務の増加により、健康診断データの管理収入等をはじめとする事務代行料等並びに健診手数料収入が増加しました。一方、カフェテリアサービスの事務取扱手数料収入等が減少し、健康診断関連の代行業務において労務費が増加しました。これにより、売上高は1,099,951千円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は340,923千円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

#### HRマネジメント事業

当第3四半期連結累計期間は主に新たに設立された健康保険組合事務局の運営支援としての人材派遣が開始されたことによる派遣売上等が増加しました。また、健康保険組合の設立支援コンサルティングは新規案件の受注が増加しました。これにより、売上高は388,610千円（前年同四半期比12.8%増）、営業利益は150,744千円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資 産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,021,053千円（前連結会計年度末は2,171,444千円）となり、150,390千円減少しました。これは、現金及び預金が145,406千円減少したことが主な要因です。固定資産は2,519,254千円（前連結会計年度末は2,400,859千円）となり、118,395千円増加しました。これは、有形固定資産の減価償却費を計上したことにより減少しましたが、投資その他の資産に含まれる投資有価証券102,648千円及び敷金及び保証金30,433千円が増加したこと等が主な要因です。これらの結果、総資産は4,540,308千円（前連結会計年度末は4,572,304千円）となり、31,995千円の減少となりました。

#### (負 債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,410,899千円（前連結会計年度末は1,330,051千円）となり、80,848千円の増加となりました。これは、短期借入金49,344千円及びその他の流動負債に含まれる営業預り金48,649千円が増加したこと等が主な要因です。固定負債は1,433,647千円（前連結会計年度末は1,673,366千円）となり、239,718千円の減少となりました。これは、長期借入金205,047千円及びその他の固定負債に含まれるリース債務38,804千円が減少したこと等が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,695,760千円(前連結会計年度末は1,568,886千円)となり、126,874千円の増加となりました。これは、四半期純利益119,103千円の計上、ストック・オプションの権利行使により資本金が13,273千円増加、資本剰余金が13,268千円増加したこと及び新株予約権11,600千円が増加、並びに配当金32,300千円の支払いによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成26年8月14日公表の「平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」から修正しております。詳細につきましては、本日(平成26年11月14日)に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,641,657	1,496,251
売掛金	241,186	217,444
商品	1,568	1,395
仕掛品	1,272	1,199
貯蔵品	5,939	7,450
その他	279,820	297,559
貸倒引当金	—	△247
流動資産合計	2,171,444	2,021,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	793,530	773,281
土地	1,383,681	1,383,681
その他(純額)	37,983	47,797
有形固定資産合計	2,215,195	2,204,760
無形固定資産	101,914	98,812
投資その他の資産	83,749	215,681
固定資産合計	2,400,859	2,519,254
資産合計	4,572,304	4,540,308
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	60,385	71,546
短期借入金	158,040	207,384
未払法人税等	63,057	47,329
その他	1,048,568	1,084,639
流動負債合計	1,330,051	1,410,899
固定負債		
長期借入金	1,519,855	1,314,808
その他	153,511	118,839
固定負債合計	1,673,366	1,433,647
負債合計	3,003,417	2,844,547
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	411,055	424,328
資本剰余金	454,975	468,243
利益剰余金	702,856	789,659
株主資本合計	1,568,886	1,682,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,929
その他の包括利益累計額合計	—	1,929
新株予約権	—	11,600
純資産合計	1,568,886	1,695,760
負債純資産合計	4,572,304	4,540,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,452,033	1,488,562
売上原価	826,109	845,309
売上総利益	625,924	643,253
販売費及び一般管理費	336,784	395,130
営業利益	289,139	248,122
営業外収益		
受取利息	448	256
補助金収入	7,400	800
その他	299	2,398
営業外収益合計	8,147	3,454
営業外費用		
支払利息	30,388	26,852
株式公開費用	18,448	—
その他	2,544	5,466
営業外費用合計	51,381	32,318
経常利益	245,905	219,258
特別損失		
固定資産除却損	—	247
特別損失合計	—	247
税金等調整前四半期純利益	245,905	219,010
法人税等	103,250	99,907
少数株主損益調整前四半期純利益	142,655	119,103
四半期純利益	142,655	119,103

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142,655	119,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,929
その他の包括利益合計	—	1,929
四半期包括利益	142,655	121,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,655	121,033
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,107,427	344,605	1,452,033	—	1,452,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,107,427	344,605	1,452,033	—	1,452,033
セグメント利益	380,136	133,415	513,551	△224,411	289,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△224,411千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	バリューカフェ テリア事業	HRマネジメ ント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,099,951	388,610	1,488,562	—	1,488,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,099,951	388,610	1,488,562	—	1,488,562
セグメント利益	340,923	150,744	491,668	△243,545	248,122

(注) 1. セグメント利益の調整額△243,545千円は、各報告セグメントに配賦不能な全社費用であり、当社の管理部門にかかる費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。